

作業療法 (OT: Occupational Therapy)

○対象とするお子さん

- ❑ 運動発達の遅れがあり、動作がぎこちない。
- ❑ 日常生活動作(例:食具操作・衣服の着脱)や道具の操作(例:鉛筆・ハサミ)など手先の細かな動作がむずかしい。
- ❑ 粘土や砂で遊ばないなど、特定の感触を嫌がり、日常生活で困る感覚の過敏さ(感覚過敏)や気づきにくさ(感覚鈍麻)がある。
- ❑ 大きさや色・形・方向・数の違いがわからない。
- ❑ 落ち着きがない、課題や人の話に集中できない。



○作業療法で行っていること

- ❑ お子さんご家族の思いや願い、生活を考慮し、発達状況に合わせた遊びや課題を選択して提供します。また、楽しみながら意欲的に集中して取り組めるように関わります。
- ❑ 生活や遊びに必要な座位や立位の姿勢保持・バランス、移動動作、握る・つまむなどの手の使い方の獲得に向けて支援します。
- ❑ 鉛筆やハサミ、定規などの道具操作の難しさに対して、手の細かな使い方の練習、道具の工夫や補助具の提案を行うことにより、道具操作の向上を目指します。
- ❑ 遊びの中で、様々な感覚刺激を受け取り、それらを適切な運動や行動に結びつける経験を積み重ねることによって、学習に必要な大きさ・色・形・方向・数などが理解できるよう支援を行います。
- ❑ 食事・着替え・排泄などの身の回り動作の難しさに対して、動作能力の向上や道具の工夫、介助方法のアドバイスを含めた支援を行います。
- ❑ 必要に応じて幼稚園・保育園・小学校・児童デイサービス事業所などと連携を行い、地域生活支援を行います。

